SERBLIN & SON

Frankie
amplifiers



“Building a new product has no other meaning than to convey the energy of a creative act which says something about us, our history, our way of seeing things, therefore giving meaning to something that, in itself, has none. This really matters.”

“ この時代にあえて新たな製品を創り出す意味。
それは、私たち自身のこと、私たちの歴史やものの考え方に関わる創造的な行為のエネルギーを
伝えること以外、何もありません。創造性がなければ、それは単なるモノで終わってしまうでしょう。
私たちは、常に創造的であることを最も大切にしています。

私たちのものづくりは、想像力とひたむきさ、そして音の真実を追究する情熱に満ちているのです ”。



音楽への愛情が生んだ、独創のかたち

SERBLIN & SON(セルブリン&サン)は、スピーカー・メーカー“Sonus faber”(ソナス・ファベール)の創業者であり設計者であった故フランコ・セルブリンの甥、ファビオ・セルブリンによって、2019年、北イタリア・ヴィチェンツァに設立されました。幼い頃から電気・電子技術に親しんだファビオは、長じて音楽録音や回路設計の技術も身につけ、1980年代初頭、叔父が音楽再生の新たな形を求めて着想した独創的なスピーカー“Snail”などの開発にも加わります。そして、1983年に叔父がソナス・ファベールを立ち上げたあとも、主に電子工学の面でブランドの成長を支え、技と経験を積み重ねていきました。



ソナス・ファベールを創業したフランコ・セルブリン(中央)とファビオ(左)。

その過程で、自らが理想とするアンプを創りたいと熱望するようになったファビオは、1991年、ソナス・ファベールを辞して自らのブランドを設立。ハンドメイドに徹したそのラインナップは高評価を獲得し、事業も順調に推移しました。

その後、オーディオ市場の変化とともに、ファビオは次第にオーディオ製品の販売・流通事業に軸足を移し、ビジネスマンとしての成功も手にしましたが、優れた製品の数々と出会い、見聞をいっそう広げるにつれ、自身が生粋のクラフトマンであることをあらためて実感するようになります。

自らの技術と創造性、叔父のもとで培われた感性と音楽への愛情をふまえ、血の通った、“ 鼓動 ”が感じられるような音楽性あふれるアンプ、自分にしか創れないアンプを生み出さなければならない——。ファビオが満を持して SERBLIN & SON を立ち上げた背景には、自身がこれまで蓄積してきたすべての知見を注ぎ込み、再びものづくりに挑む強い意志がありました。

そのブランド名は、自身が持つ“Serblin”という姓への誇りと、将来、息子とともに事業を伸ばしていきたいという夢も体現しています。デビュー作となる“Frankie”シリーズの名称はフランコにちなんでおり、木の魅力を引き出し、美しい造型に結実させた叔父の創造性を讃えています。

ファビオは、回路基板から制御ソフト、意匠の設計、組み立て、出荷に至る製造・販売の全フェーズを自ら手がけ、自身の信念と理念を貫いています。コンパクトに洗練されたそのデザイン、その音楽性に、音楽をこよなく愛した師の血統を継ぐ経験豊かなクラフトマンの誇りと熱情を感じていただけるはずです。



“Frankie”シリーズの筐体を支えるウォルナット無垢材のフレーム。木材の美しい質感と金属の堅牢性を融合するデザインは、ファビオがソナス・ファベールで蓄積した知見を反映しています。

Frankie

“We believe in imagination, commitment, authentic passion for what we do.”

------ Fabio Serblin



Frankie hybrid preamplifier



◆真空管本来の音色を活かすハイブリッド設計

“Frankie” hybrid preamplifier は、真空管と半導体、それぞれの特性を最大限に抽き出したハイブリッド・プリアンプ。心臓部となるラインアンプ部(電圧増幅段)は、各チャンネルの正相・逆相用に２本、計4本の E88CC(6DJ8)双三極管を使用、これをフル・バランス “SRPP” 回路として構成するという、きわめて贅沢な設計になっています。

“SRPP”(Shunt Regulated Push-Pull)回路は、双三極管内の２組のユニットを上下・直列に重ねたプッシュプル構成とし、上段を下段の能動負荷として機能させることで高ゲインを獲得する一方、下段で入力信号を増幅するもので、一般的な電圧増幅に比べて歪みを抑え、かつ出力インピーダンスを低く保てるメリットがあります。真空管ならではの伸びやかであたたかな音色を活かしながら、ノイズがなく情報量の多い信号伝送を実現し、さらにパワーアンプを安定的にドライブできる、まさに理想的な回路パターンと言えるでしょう。

また、この回路をアクティブ・カスコード方式の MOSFET 定電流源と組み合わせたことも設計上の大きな特徴です。MOSFET を2段直列につないで電圧の変化を制御し、さらにアクティブ素子である MOSFET で電流を効率的に安定化できるこの上質な定電流源によってこそ、真空管への電流が一定に保たれ、歪みやノイズを極小まで抑えながら真空管本来のリニアリティを引き出すことができるのです。

しかも、4系統の回路それぞれに独立した安定化電源を配置して回路相互の干渉を完全に排除。微小信号を扱うプリアンプにふさわしく、きわめてクオリティーの高いこうした回路設計により、オーバーオール・フィードバックは不要になり、音楽信号の純度を守りつつ真空管増幅本来のダイナミズム、ニュアンスに富む音楽的な再現性を獲得しています。

◆独自開発のボリューム・コントロール

このモデルの設計におけるもう一つのポイント。それは、ボリューム・アッテネーターのコンセプト “ ゴールデン・ステアウェイ ” です。SERBLIN & SON が独自に開発したこのボリュームは、きわめて低ノイズのディスクリート FET 入力をそなえ、127 段階の金メッキ・リレーを切り替える固定抵抗ラダーとなっており、両チャンネルの “SRPP” 回路の音量を寸分違わず調整、左右の誤差を抑えることができます。これにより、小音量であっても定位感や音場感を損なうことなく、長期にわたって精度高く安定したボリューム調整が可能になります。

◆最適セッティングが可能なフォノ入力

“Frankie” hybrid preamplifier は、XLR ２系統、RCA １系統の入力、XLR、RCA 各１系統の出力という構成。MC ／ MM 双方に対応するフォノ・イコライザー回路は、専用電源をそなえてライン系から完全に独立しており、超ロー・ノイズ FET 入力、完全パッシブの RIAA ネットワーク、バランス出力という構成によって、繊細なアナログ楽音信号を高精度に伝送します。

また、リア・パネルでは MC ／ MM 切り換えの他、DIP スイッチにてカートリッジ負荷の抵抗値(MC)と容量(MM)を設定でき、ご使用のカートリッジのポテンシャルを最大限に抽き出す最適のセッティングが可能です。

◆美しくも機能的なエクステリア

“Frankie” シリーズは、堅牢なブラッシュ仕上げアルミニウム製シャーシに回路基板を固定。このシャーシとトップ・パネルの間に、前面から側面にかけてウォルナット無垢材フレームを組み込み、コンパクトで美しいエクステリア・デザインを追求しています。

クラシカルであたたかな質感と現代性がみごとに合一したそのデザインはまた、異種素材を組み合わせることで振動要因の効果的な分散にも寄与しており、ファビオが叔父から継承したものづくりの哲学を体現するものと言えます。



本体と同じアルミニウム・シャーシのリモート・コントローラーも標準付属。電源のオン／オフや入力ソース切り換え、ボリューム調整、ミュートの基本動作をコントロールできます。

Frankie stereo power / monoblock power



◆コンパクトながら力強く、クリーンな電源設計

“Frankie” シリーズでは、hybrid preamplifier とペアを成すパワー・アンプとして、ステレオとモノブロックの2モデルもラインナップしています。いずれもクラス A/B オペレーションとし、歪みが少なく音質に優れたクラス A 動作、必要に応じて大電流を送り込めるクラス B 動作、双方の特質を効率的に活かすことで、スリムでコンパクトながら繊細な表現力と大きな出力とを両立できる設計となっています。

電源部は、容量 250VA、強力かつ静粛な大型トロイダル・トランスを搭載。音声信号系、制御系など目的に応じて複数の二次巻線をそなえていることからチャンネル間干渉も抑えられ、クリーンな音像と広大な音場感・空気感の創成に貢献しています。

トランスに続く安定化電源回路は、IC チップ類に依らず、厳選に厳選を重ねたパーツを丁寧に組み上げたディスクリート構成としており、電圧変動の安定化、電源ノイズの徹底的な低減、そして前段回路への影響の極小化というレギュレーターの使命を高次元でクリア。濁りなく高純度な、ニュアンスに富んだ再現性につなげています。

◆音楽性最優先の合理的な回路デザイン

スピーカーを駆動する電流増幅段には、緊密なマッチングを経たパワー・トランジスターを配置、無駄なく高効率に強大な出力を獲得しながら、安定したクラス A/B オペレーションによって、全帯域にわたる歪みなくピュアな音楽再生を可能にします。

stereo power はチャンネルあたり出力 75W(8Ω)、125W(4Ω)を実現する“SEPP(Single-Ended Push-Pull)” 構成。“Frankie” hybrid preamplifier との組み合わせにより、さまざまなスピーカーを、セパレート構成ならではの静粛性や豊かな表現力とともにドライブすることができます。

monoblock power は、2つの独立した増幅回路を、それぞれバランス信号の正相側と逆相側に割り当てるフル・バランス構成を採用。さらに、この回路構成に合わせて電源トランスの 2 次側電圧や電流仕様をあくまでモノブロック専用として最適化することによって、150W(8Ω)、250W(4Ω)の大出力を獲得しています。各チャンネルにモノブロック 1 台を設置する贅沢なシステムアップにより、パワフルにして繊細な、異次元の音楽再生を満喫していただけます。

◆出力端子まで貫かれた信念

スピーカー端子は、ファビオが長年培った知見と入念なリスニング・テストをふまえ、バナナ・プラグ専用としています。端子本体を真鍮製とした上で導電性に優れた銀メッキを施しており、信号損失を極限まで抑えた信号伝送が可能です。

◆音質に影響しない、万全の保護回路

万が一のスピーカー端子のショートや外部からの DC 電圧発生による本体とスピーカーの損傷を防止する保護回路も万全。楽音信号に影響しないよう、センサーとマイクロプロセッサーにて監視する方式とし、非常時には高速で電力を遮断。過負荷の状況もフロント・パネルの LED で確認できます。



Frankie integrated

“Frankie” シリーズでは、hybrid preamplifier と stereo power/monoblock power による
セパレート・システムとは別に、インテグレーテッド・アンプもご用意。

シンプルな回路設計によって楽音信号の純度と鮮度を守る
“Frankie” シリーズの基本哲学を忠実に反映、創造的なクラフトマンシップあふれる
SERBLIN & SON のものづくりから生まれる、あたたかく上質な音、ナチュラルな表現力を
オールインワンで手にしていただけます。





◆インテグレーテッド・アンプの理想形を目指して

“Frankie” integrated は、ファビオが 30 年以上のキャリアの中で培った技術と理念をふまえ、自らが理想とするインテグレーテッド・アンプのかたちを追求したモデル。一体型ならではのハイスピードでリニアな信号伝送に基づき、アナログ、デジタルいずれのソースも、高精度かつディティール感豊かに再現します。

◆思いのままのボリューム設定が可能

入力は RCA アンバランス 2 系統、XLR バランス 1 系統に対応。XLR 入力は、専用のシングル・エンド信号変換回路を介することで、バランス伝送ならではの信号純度を維持しています。

微小信号を扱うフォノ回路は、本機専用として設計。独立電源、ディスクリート・トランジスター電源安定化回路をそなえ、バイポーラー・トランジスター 4 個対称構成による入力段、パッシブとアクティブを組み合わせた高精度セミ・パッシブ RIAA 補正回路を採用。リア・パネル DIP スイッチにて、ご使用のカートリッジごとに最適の負荷抵抗 (MC) と負荷容量 (MM) を設定できます。

ボリューム・コントロールは、hybrid preamplifier に搭載された独創的な “ ゴールデン・ステアウェイ ” をそのまま採用。超ロー・ノイズ FET ディスクリート構成の入力設計、可変抵抗ではなく 127 ステップの高精度固定抵抗を金メッキ電子リレーにて切り替える方式により、微小レベルでも左右バランスや音場を崩すことなく、思い通りのファイン・チューニングを可能にします。

◆繊細にしてダイナミック、音楽的な表現能力

電源部は、hybrid preamplifier、stereo power / monoblock power 同様、コンパクトながら大容量 250VA のトロイダル・トランスを搭載。入力段、電圧増幅段、出力段それぞれの電力供給用に 2 次巻線を設け、ディスクリート FET による精緻な電圧レギュレーター回路設計と相俟って、ノイズと無縁のリニア電源部を実現。さらに制御回路も別電源としており、あくまで楽音信号の純度を最優先にした設計に徹しています。

増幅段は、stereo power / monoblock power 同様、高効率クラス A/B オペレーションとし、チャンネルあたり 75W(8Ω)、110W (4Ω)の出力を実現。大電流供給が可能な 15A 級バイポーラー・パワートランジスターを使用、シンプルなコンプリメンタリー・エミッター回路による “SEPP” 方式とし、出力トランスを用いることなくスピーカーをダイナミックに駆動します。

繊細な表現に優れたクラス A 動作と、俊敏な対応が可能なクラス B 動作をスムーズに切り替えるクラス A/B 方式は、熱を最小限に抑えながらパワフルで多彩な音楽表現が可能。コンパクトな筐体にて音楽のあらゆる色合いを描ききることができます。

◆一体型ならではの操作性



電源オン／オフ、入力ソースの選択、ボリューム調整は、軽快な操作フィールを持つフロント・パネルのノブにて行ないますが、本体シャーシと同じアルミニウム製のリモート・コントローラーでも全機能の操作が可能。

入力ソースをセットすれば、あとは手元でシステム全体をコントロールして音楽世界に没入できるのは、一体型システムならではの楽しみと言えるでしょう。

◆システムの中枢にふさわしいイタリアン・デザイン

天然木ならではの風合いとブラッシュ仕上げアルミニウム材の穏やかな輝きを融合したエクステリアは、“Frankie” シリーズの大きな魅力。機能だけを追求した無骨な造りとは程遠い控えめでエレガントな造型は、まさに叔父フランコのレガシーであり、機能の追求を美の次元にまで昇華させていくイタリアン・デザインの真骨頂と言うことができます。



Specifications

Frankie hybrid preamplifier



- ●入力系統　XLR ×2、RCA ×1、Phono MM/MC (RCA) ×1
- ●出力系統　XLR ×1、RCA ×1
- ●使用真空管　E88CC (6DJ8) ×4
- ●フォノ入力負荷　抵抗 (MC) : 33 Ω、100 Ω、1k Ω、10k Ω、50k Ω
  容量 (MM) : 100pF、150pF、220pF、1,000pF
- ●消費電力　動作時 10W、スタンバイ時 0.5W 以下
- ●外形寸法　幅 430 × 高さ 100 × 奥行 315 mm (突起部含む)
- ●重量　7kg

Frankie integrated



- ●入力系統　XLR ×1、RCA ×2、Phono MM/MC (RCA) ×1
- ●出力系統　スピーカー出力 × 1 (バナナプラグ専用) RCA ×1
- ●フォノ入力負荷　抵抗 (MC) : 33 Ω、100 Ω、1k Ω、10k Ω、47k Ω
  容量 (MM) : 100pF、150pF、220pF、1,000pF
- ●定格出力　75W/ch (8 Ω)、110W/ch (4 Ω)
- ●消費電力　動作時 14W、スタンバイ時 0.5W 以下
- ●外形寸法　幅 430 × 高さ 100 × 奥行 315 mm (突起部含む)
- ●重量　12kg

Frankie stereo power

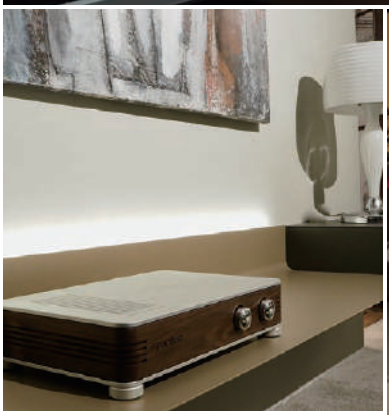


Frankie monoblock power

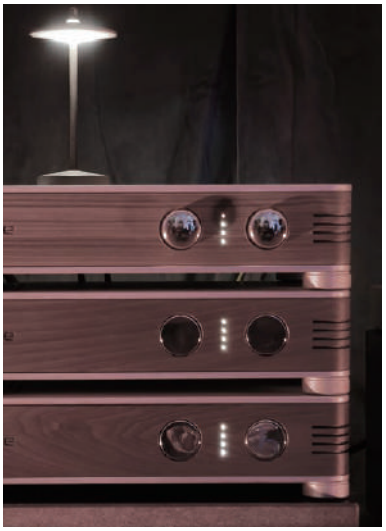


- ●入力系統　XLR ×1、RCA ×1
- ●出力系統　スピーカー ×1 (バナナプラグ専用)
- ●定格出力　ステレオ : 75W/ch (8 Ω)、125W/ch (4 Ω)
  モノブロック : 150W (8 Ω)、250W (4 Ω)
- ●消費電力　ステレオ : 動作時 13W、スタンバイ時 0.5W 以下
  モノブロック : 動作時 18W、スタンバイ時 0.5W 以下
- ●外形寸法　幅 430 × 高さ 100 × 奥行 300 mm (突起部含む)
- ●重量　10kg











● SERBLIN & SON と、弊社取り扱いの “STUDIO FRANCO SERBLIN” は、それぞれ独立したブランド・事業体であり、両社に事業上の関係はありません。
●天然木を使用しているため、木目や色味は製品ごとに異なります。あらかじめご了承ください。
●仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますのでご了承ください。●弊社の定める日本国内の希望小売価格に、配送料は含まれません。

ArkGioia
株式会社アーク・ジョイア
〒112-0013 東京都文京区音羽1-1-7 正進社ホールディングスビル4階 03-6902-0480 www.arkgioia.com